

【刊夕日四月三】



休日曜大祭日  
日曜大祭日  
月曜 廿五  
火曜 廿六  
水曜 廿七  
木曜 廿八  
金曜 廿九  
土曜 三十  
日曜 三十一

### 濱通りで双相方面に

#### 氣運ノ厚な組合製糸

##### 營業製糸側も漸く動く

##### 但し提携の條件が問題

組合製糸設立計劃に對して其の投資關係がどうなるで  
縣も漸く乘氣になつたことあらうか地方によつては困  
は既報の如く濱通りでは双相なところがありはせぬか  
葉の山田縣議及び相馬郡の  
高野與祖次郎氏等に奔走さ  
れてゐるが愈々今日

#### 福島蚕 業取締支所

に之れが實行委員會を開き  
縣蠶糸課から太田課長並に  
青木技師臨席具體案を協議  
された右に對しては營業製  
糸側にも最寄協議を

#### 經てゐるもので比

較的經營苦の工場は此の際  
組合製糸との合流を得策と  
なし或程度までの譲歩を以  
て工場を解放せんとする向  
もあるが縣としては従前に  
設立をのみ急がうとする

#### 意向で はなく爾後

の完全を期する爲めには岩  
手縣に於けるもの、如く又  
は平町に設立された磐城片  
倉製糸の如く公平私的な  
組織の上に養蠶營業をして

#### 有利な 位置に立た

しめ候とされてるらしいが

### 三月の 動きを見た

上でなくては財界好轉か否  
かが判つきりしない  
▲旅客二月乗車五一九九  
(一月四九八〇七)降五〇  
七五二(一月四二五二二)  
▲貨物發送一月四二七七  
噸(前年同期四〇〇一)到  
着(前年同月四〇〇一)到  
期(一七〇六五)

### 磐崎村の 山火事

#### 草山十町歩 餘を焼く

石城郡磐崎村の上湯長谷湯  
の嶽から昨三日午後四時頃  
發火し枯草山十町歩餘を燒  
いて附近農家から駆つけた  
人々により同十時頃漸く鎮  
火したが原因目下取調中  
これから山林火災が多く青  
草や(わらび)の繁茂を望む  
故意の放火もある爲め平署  
では嚴重なる取締をなすと

### 乞食の凍死

石城郡高久村の下高久字古  
鍛冶地内山林岩穴に集り  
同地方を徘徊してゐた乞食  
栃木縣下津賀郡石橋町生れ  
と稱する上野元次郎(三〇)は  
廿七日午後一時頃同穴内に  
死亡し居るを平署の検視で  
凍死と判り村役場の假埋葬  
となる

### 貧困児童の 就學獎勵

#### 四十五名に 百七十二圓

平町に於ける昭和五年の貧  
困児童に對する縣の児童  
就學獎勵金は六十六圓卅八錢  
で前年度繰越廿圓及び町の  
獎勵金八十六圓四十二錢を  
合せて百七十二圓八十錢を  
左記該當者に給與される筈  
であるが方法は役場から學  
校に交付し學校に於て各父  
兄に頒與することになつて  
ゐる

### 濱の休業で魚無デ!

#### 船主も漁夫も惠まれた

#### 好天續きにホクホクの春

舊正月の爲め一割乃至二割  
の高騰を示した平町の鮮魚  
相場は元日から五日まで漸  
騰を續け六日から九日まで  
下押となり其後また昨日  
(舊十五日)まで

### 高値に 盛返し當日

の相場は左記の如くであつ  
たが舊十四日から十六日ま  
で三日間に亘る各日の休業  
に品薄の爲め需要家側にと  
つて馬鹿々々しい鮮魚相の  
極品

### 俳句 萬歳

#### 満壽莊主人

只も行れぬが不沙汰なり  
初め  
なんと皆さん面白く可では  
ありませんか、是非一寸顔  
泣きながら出て行かなくては  
仕舞つたと云ふは常吾々

### 夏井村にも 山林火災

石城郡夏井村の菅波地内松  
林から去る三日午後三時半  
頃發火し見る間の延焼に附  
近農家も危険に迫り同村消  
防組を初め村民一同の出動  
で四時頃消火止めたが原因  
は同村大和田金彌長男の信  
男(三〇)と同じく鹽田徳松五  
男(二〇)が前記松林内に  
焚火をなしたもので損害は  
火災面積二反歩約二十圓で  
あると

### 平署内の 消防陣營

組員四千名に  
ポンプ一二九臺  
中署管内に於ける昭和五年  
未現在の消防組は二十二組  
で組頭の同数と小頭級二百  
六十六名を合算し所有ポン  
プは同数と小頭の自動車を  
一臺並に小名の自動車を各  
一臺並に小名の瓦斯機  
一臺の外數臺の瓦斯機  
一臺並に小名の瓦斯機  
一臺並に小名の瓦斯機

### 裏庭で 賭博

#### 正月休みに ガンチメツコ

平町教育會では屢報の如く  
來る八日平 第一小校で  
賭博を禁ずるが爲め

### 平署の 劍道講習

#### 來る十三日 から四日間

平署主催の劍道講習會は來  
る十三日から十六日の四日  
間毎日午前十時から午後  
四時迄だが希望者は無料で  
入場料なし、被服一、小川  
文章、鈴木忠正、水本  
正行、藤井の諸氏である  
が階級試験は講習終了の習  
習用品一〇、被服一食、日  
用品一、兒童數十名金額

### 平教育會の 總集會

#### 來る八日平 第一小校で

平町教育會では屢報の如く  
來る八日平 第一小校で  
賭博を禁ずるが爲め

### 裏庭で 賭博

#### 正月休みに ガンチメツコ

平町教育會では屢報の如く  
來る八日平 第一小校で  
賭博を禁ずるが爲め

### 裏庭で 賭博

#### 正月休みに ガンチメツコ

平町教育會では屢報の如く  
來る八日平 第一小校で  
賭博を禁ずるが爲め

### 裏庭で 賭博

#### 正月休みに ガンチメツコ

平町教育會では屢報の如く  
來る八日平 第一小校で  
賭博を禁ずるが爲め

### 裏庭で 賭博

#### 正月休みに ガンチメツコ

平町教育會では屢報の如く  
來る八日平 第一小校で  
賭博を禁ずるが爲め

### 裏庭で 賭博

#### 正月休みに ガンチメツコ

平町教育會では屢報の如く  
來る八日平 第一小校で  
賭博を禁ずるが爲め

### 裏庭で 賭博

#### 正月休みに ガンチメツコ

平町教育會では屢報の如く  
來る八日平 第一小校で  
賭博を禁ずるが爲め

### 裏庭で 賭博

#### 正月休みに ガンチメツコ

平町教育會では屢報の如く  
來る八日平 第一小校で  
賭博を禁ずるが爲め

### 裏庭で 賭博

#### 正月休みに ガンチメツコ

平町教育會では屢報の如く  
來る八日平 第一小校で  
賭博を禁ずるが爲め



**白酒の造方**

附産名納豆の製造方法

まだ寒さが相當きびしいけれども三月の桃の節句が乘りました此のお節句になつてならぬもの、様になつてゐる白酒は皆ご承知の通り乳白色をした甘味の強い甘酒の冷えたものに酒精を加へた様な感じのする酒精飲料で婦人連の多く好むものであります、又老人や子供の口にも入り易い白酒の造り方を述べて見ませう。關東地方では山川の白酒と河合の花白酒と色々あるけれど山陽地方では之れを東白酒と稱して味淋、清酒糯米で造る、其の方法は糯米一斗二升を十時間以上蒸して粥状となしこれに焼酎八升五合、新酒一升五合を混じてよく攪拌し一ヶ月後になつてから味淋を加へて充分かきませ、直ちに取り出し、石臼にかけて粗くひき碎いてからそのまゝ、搗詰にするものと篩を通して詰めるものとある、糖分は廿五パーセント乃至廿八パーセントもあるがアルコールは僅か四、五パーセント位しかない様である、製造の時期は一月下旬から三月上旬位の間(東北地方は三月中旬)が最もよい品質のものが出る

甘酒は白米の一定量を飯に炊いて木製の容器に入れ同じ位の量の又は倍量の米麴を加へて攝氏七十度内外の温湯を少量そそぎよくかきまぜて混合し蓋を施して冷却を防ぎ五十五度位の温度を保つて一日に一回位づつ(冬ならば二回)かきまぜます(多ならば二回)かきまぜますと四日間位で熟成します

元詰 葡萄酒 1.10  
甘味 葡萄酒 1.10  
スペイン G.H. 元詰  
ゴルフポートワイン  
御婦人の方には少し水を加へて召し上るご風味一そう佳良です  
(二平)西村屋薬舗 (電三)

**ガリリン** モビール油 日本石油株式会社  
**特約販賣** 株式会社  
**油問屋** 関内商店  
支店 郡山市 驛前大通 電話三三二八  
支店 茨城県 關本驛前 電話四七三三  
出張所 平町四丁目 郵便局前

**五週年紀念品付大賣出し**  
東京理學療法院後援  
期自三月一日 景特大一ケニ付巻法藥一ケ  
至三月卅一日 品特小一ケニ付艾一ケ  
冊五日分  
其他粗品進呈  
特約 平町五丁目廿八  
志賀齒科醫院  
平町白銀町九  
産婆關口悦子

**高島屋の洋服**  
裁縫 模範  
オーバー 五圓から卅圓まで  
二重廻し 七圓以上  
既製部  
注文部は各種破格の勉強  
平町驛前 電話三八六番

**生徒募集**  
一、卒業は産婆看護婦科を通じて一ケ年  
一、入學資格 高等小學卒業又八同等以上の學力ある者へ無試験入學を許す  
一、申込期日 四月八日迄  
**平南町** 電話三〇七番  
平南町 看護婦學校  
校長 清野キヨ

**美味經濟 味噌**  
山崎合名會社  
表代城磐 酒銘  
社會名合崎山 番十話電

**藤田女學校生徒募集**  
(1) 本 科 五十名  
(2) 裁縫專修科 五十名  
(3) 師範科 三十名  
(4) 專攻科 二十名  
(5) 本科、裁縫科第二學年補欠 若干名  
右希望者ハ至急願書提出ノコト  
詳細ハ本校宛學則請求セラルベシ  
昭和六年三月  
福島縣平町田町  
文部大臣 藤田女學校  
認 可  
電話三三八番

**諸毒下シの大妙藥**  
**安流丸**  
持約 山野邊藥局  
平町五丁目角

**第三回 産婆看護婦 生徒募集**  
一、卒業年限 兩科ヲ通ジテ一ケ年  
一、入學資格 高等小學卒業又八同等以上ノ學力有ル者へ無試験入學ヲ許ス  
一、申込期間 四月八日迄  
**平町一丁目** (電話三五七番)  
石城 産婆看護婦學校  
校長 鷹崎千代

**高島屋**  
食品 廉價 賣出  
平町驛前 電話三八六番

**磐城佑賢學舍生徒募集**  
一本 科 入 高等科卒業程度の男女  
一、普通科 尋常科卒業程度以上の男  
一、新設農藝科 格 高等科卒業程度の男女  
一、右各科共に入學試験は行はず  
願書受付順に入學を許可す  
一、新學期開始 四月六日  
一、詳細は規則書請求のこと  
昭和六年三月  
平町六間門廿番地 (電話九三番)  
**磐城佑賢學舍**